要 望 書

苫小牧市商店街振興組合連合会

要望書

1　市商連への財政支援について

連合会が一丸となり、市民の皆様に親しまれる賑わいのあるまちづくりに取り組んでおりますが、昨今の物価高騰や人手不足、消費行動の変化により、多くの商店街が厳しい経営環境に直面しております。この状況を打開し、商店街の持続的な発展と地域経済の活性化を図るため、昨年度開催した『キャッシュレス決済ポイント還元セール』を今後も継続して開催していきたいため、一般事業補助金を要望致します。

2　駅前中心街の再生について

閉鎖してから10年以上が経過しております旧サンプラザビルが、ようやく解決に向けて動き出しました。千歳市にはラピダスが進出し近隣市町村にも波及効果が期待される中、苫小牧市の顔である駅周辺再生が急務となっております。更に来年度の市民ホール完成に伴い、駅から市民ホールまでの賑わい創出の核として旧サンプラザビルの跡地活用が大きく影響すると考えられますので、この問題の早期解決と地元商店街と協働しながら再生への歩みを進めていただくことを要望します。

3　地域商店街の要望について

（1）　３０年以上経過し歩道の劣化及び歩道タイルブロックの損傷が著しい箇所があるシンボルストリートですが、歩行者が安全に通行するために支障のない歩道の整備並びにタイルブロックの改修を要望したところ、『苫小牧都市再生コンセプトプラン』と連携した再整備との回答をいただいておりました。現状のままが続くといつ市民が転び、怪我をしてもおかしくない状況になっていますので再度要望します。　【駅前通商店街・駅通中心商店街】

（2）　駅前再整備計画が進む中、商店街としてもウォーカブルなまちづくりを目指した議論がされております。しかし、市民が歩きたくなるような駅前通りを作り上げるには様々な施策が必要に感じます。各個店も個々の努力が必要な中ではありますが、厳しい状況が長らく続いたため、苫小牧市店舗改装補助金の他に多様な支援を要望します。　【駅前通商店街・駅前中心商店街】

（３） 苫小牧市内空き店舗活用事業補助金の対象店舗条件の中にある『旧苫小牧市中心市街地活性化基本計画に定められた区域』という箇所に対し、店舗貸借料の補助額が中心市街地と、それ以外の地域で月額15,000円の差が生じているのが現状です。各地域においても賑わい創出のためには新規出店は必然との考えから、中心市街地以外の商店街に対する補助額の引き上げを要望します。

【全商店街】

（４） ときわ町と澄川町の間を通る双葉３条通り（バイパス）は地域の中心道路であり地域住民や子ども達が多く利用する通りですが、歩道部分が暗すぎるため防犯面でも商店街の活気という側面からも決して良い状況とは言えません。ここの歩道部分に街路灯（防犯灯）を設置していただくよう苫小牧市から北海道に要請していただくことを再度要望します。　【ときわ・澄川商店会】

（５） 苫小牧市全体で問題視されている社会課題は、中心市街地から離れれば離れるほど深刻な影響を与え地域の機能を崩壊させつつあります。駅前再整備計画が加速する今こそ、中心市街地とそれ以外の各地域との役割を明確に分け、整合性を考えなければなりません。苫小牧市内の大きな賑わい創出イベントは、そのほとんどが中心市街地で開催されておりますが、それ以外の地域でも地域特色を生かした個性豊かな素晴らしい企画がたくさんあります。そこで、各イベントが地域に対し、どれ程の経済効果をもたらしているか等の実績が加点される新たな商店街イベント事業補助金制度の検討を要望します。

【勇払商工振興会】

令和７年４月３日

苫小牧市長　金澤　俊　様

苫小牧市商店街振興組合連合会

理事長　長山　愛一郎 [redacted]